**当院で麻酔科術前コンサルトをお受けになった方へ**

当院では外科手術の患者さんを安全にかつ適切に麻酔管理することで、術後回復を最適化できる診療を行なっております。手術の内容や患者さんの全身状態など様々な要因が存在するなかで、それぞれの患者さんが出来るだけ早期に、良い状態で退院出来るような理想的管理方法を見出すため、継続的に麻酔管理の調査検討が必要と考えております。

【研究課題】

術前麻酔科コンサルトを分析し、周術期管理を向上させる。

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院

　研究責任者 朝元雅明・麻酔科・痛みセンター・助教

担当業務　データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

　2019年11月30日〜2020年12月31日

【対象となる方】

2009年7月1日 ～ 2019年11月30日の間に、当院で手術前に麻酔科術前コンサルトを受診された患者さん

※データの収集は終了しております。

【研究の意義】

高齢化と周術期管理水準の向上に伴い、ハイリスクな患者さんが手術を受ける機会が増えてきています。特にリスクの多い患者さんを術前に評価をする、麻酔科術前コンサルトの大規模なデータベースを分析することで、より安全な周術期管理が出来るのではと考えています。

【研究の目的】

電子化された麻酔科術前コンサルト記録は10年にわたり大規模な蓄積がなされている。これを分析し、周術期管理を向上させることが目的である。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。対象患者さんの術前、術中、術後の血液データ、画像データ（胸部X線写真、CTおよびMRI写真）、各種臨床評価指標、および手術時の各種記録（麻酔方法、手術時間、出血量など）、麻酔科術前コンサルトの依頼文、返信文等の診療中に得られたデータを収集して行います。過去の診療記録を元に行いますので、該当する患者さんの現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、新たにご負担いただくこともありません。

【個人情報の保護】

　この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

収集されたデータは、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において朝元雅明が、施錠された部屋の中で鍵のかかるロッカー、および個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコン）で厳重に保管します。個人情報は完全に消されてしまうため、この符号を元の氏名等に戻す操作を行うことは出来ません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局までご連絡ください。**2020年5月1日までにご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせて頂きます。**

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等に発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

2019年11月

【問い合わせ先】

　　東京大学医学部附属病院

　　　　麻酔科・痛みセンター　　　　　　　　　　　　　　　助教　朝元雅明

　　　　麻酔科・痛みセンター　　　　　　　　　　　　　　　科長　内田寛治

　　　　住所：東京都文京区本郷7-3-1

　　　　電話：03-5800-8668　 FAX：03-5800-8938

　　　　Eメールでのお問い合わせ：asamotom-ane@h.u-tokyo.ac.jp

uchidak-ane@h.u-tokyo.ac.jp